

守山市教育委員会会議録

令和5年第10回定例会
(令和5年10月24日)

守山市教育委員会

令和5年第10回守山市教育委員会（定例会）会議録

○ 日 時 令和5年10月24日（火）
開会時刻 午後1時40分
閉会時刻 午後2時17分

○ 場 所 守山市役所 2階防災会議室B

○ 出席委員等 教育長 向坂正佳
委員 福田正悟 委員 吉田郁雄
委員 里内 緑 委員 高倉直子

○ 説明員

教育部長	飯島秀子	教育部理事	筈井 亨
教育部次長	川上かよ子	教育部次長	池田 あづさ
教育部次長	寺井信義	教育総務課長	西藤安彦
学校教育課長	地石玲子	保育幼稚園課長	遠山純一
社会教育・文化振興課	横山勇一	図書館長	松本孝子

教育長	<p style="text-align: right;">(開会：午後1時40分)</p> <p>只今、定足数に達しておりますから、これより令和5年第10回教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>では、これより本日の議事日程により進めさせていただきます。</p> <p>日程第1、令和5年第9回教育委員会会議録の承認についてをご覧ください。こちらにつきまして、ご意見等はございませんか。</p>
里内委員	<p>会議録は5ページ、高倉委員のご発言で「立入小学校」とあるところ、正確に「立入が丘小学校」とした方が良いと思います。また、「職員室や保健室に行かないと行けないので」の「行けないので」は平仮名表記の方が良いと思います。</p>
教育長	<p>事務局は訂正をお願いします。</p> <p>他にいかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、他に意見がございませんので、令和5年第9回定例会の会議録は、異議がないものとして承認いたします。</p> <p>次に、日程第2、教育長の業務報告を致します。</p>
教育長	<p style="text-align: center;">【教育長 業務報告】</p> <p>只今の業務報告につきまして、ご質問等ございませんか。</p> <p>ないようでありますので、これで教育長の業務報告を終わります。</p> <p>これより、日程第3、審議事項に入ります。</p> <p>それでは、まず議第30号「守山市立公民館の管理および運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について」の件を議題と致します。</p> <p>議件について、社会教育・文化振興課長から提出議案の説明を求めます。</p>
社会教育・文化振興課長	<p style="text-align: center;">【社会教育・文化振興課長が資料により説明】</p>
教育長	<p>只今の説明について、ご質問等ございませんか。</p> <p>それでは、ないようでありますので、これで質疑を終わり『採決』を致します。</p> <p>お諮りします。議第30号については、原案のとおり決することにご異議ございませんか。</p>

各委員	【異議なしの声あり】
教育長	<p>ご異議なしと認めます。</p> <p>よって、本件は原案のとおり可決することに決しました。</p> <p>これで審議事項を終ります。</p> <p>次に、日程第4、報告事項に移ります。</p> <p>まず「令和6年度市内幼稚園・こども園（短時部）の入園申込状況について」を、保育幼稚園課長から説明をお願いします。</p>
保育幼稚園課長	【保育幼稚園課長が資料により説明】
教育長	只今の説明について、ご質問等ございませんか。
高倉委員	今年度の待機児童数約80名とこちらの資料の関連性はありませんか。
保育幼稚園課長	こちらは幼稚園およびこども園（短時部）に関する資料です。待機児童数が多かったのは保育園およびこども園（長時部）でして、今年度の4月1日時点で82名でした。
教育長	来年度の保育園およびこども園（長時部）の待機児童数について現時点で分かっていることはありますか。
保育幼稚園課長	来年度の入所受付第1回目が終了したところですが、昨年度より申込数が若干多くなっており、特に1歳児の申込が昨年より30名程度多い状況です。待機児童対策についても引き続き取り組んで参りたいと考えております。
高倉委員	吉身幼稚園4歳児および5歳児の定員が各105名に対して、入園受付が4歳児27名、5歳児35名となっていますが、定員数はどう算出していますか。この定員数を基に先生を採用しているのであれば、先生が余るのではないのでしょうか。
保育幼稚園課長	<p>定員は教室数を基に計算しています。</p> <p>例えば、4歳児ですと、定員35名の教室が3教室ありますので定員</p>

高倉委員	<p>105名と算出しております。今後、長時部等で保留になった方の入園も考えられますので、現状としてこちらの資料を示しております。</p> <p>また、保育士および幼稚園教諭の配置について、実際の入園児が募集定員より少ない場合は人事異動等によって調整をしています。</p> <p>その学区に住んでいる各年齢の園児数が算出できるのであれば、そこから定員数を割り出してもいいのではないのでしょうか。</p>
保育幼稚園課長	<p>もちろん、園児数の人口推計も行っておりますが、長時部等で保留になった方の学区外からの入園も考えられますので、施設の容量から定員を取り決めております。</p>
高倉委員	<p>保護者として、教室が余っているのになぜ待機児童が出るのかという印象を受けますので、学区の人数に対しての定員数にする方が良いのではないのでしょうか。</p>
保育幼稚園課長	<p>待機児童が出るのは共働き世帯増加等による保育ニーズ増加に対して保育士不足等による受け皿不足が主な要因となっております。幼稚園の空き教室に関しましては、預かり保育や未就園児向け事業など、幼稚園の魅力が向上するような取組で有効活用を進めています。</p>
高倉委員	<p>保護者としては、こども園においては長時部希望者が約60%で半数以上いるのに、短時部定員が多く長時部定員が少ないというのは疑問を感じます。共働き世帯が増加し、幼稚園児の母親でも働きたいと思っている方や実際に時間を決めて働いている方もいます。中洲幼稚園がこども園になった途端に園児が増えたという状況もあるため、幼稚園のこども園化等を進めていただかないと保護者に負担がかかると思います。</p> <p>守山の人口が増え、子どもの数が増え、働きたいと思っている方が増えているのであれば、より長時部を増やしたほうが良いのではないのでしょうか。私の子どもが幼稚園に通っていた時は、やはり2時というのは制限が大きいので4時まで延長して欲しいと他の保護者とも話していました。</p>
保育幼稚園課長	<p>こども園化については、現在および将来のニーズも踏まえて、施設整備も含めどのような手法が必要かということを検討しているところで</p>

<p>吉田委員</p>	<p>預かり保育は4時半まで拡充しているところですが、給食の提供についてもたくさんご意見を頂いておりますので、そうしたニーズを図っていきながらよりよい手法を検討し、子ども・子育てプランの策定をしていけたらと考えているところでございます。</p> <p>高倉委員のおっしゃるとおり、毎年、この数値を見ているけれども、より一層にギャップが大きくなっている状況で、この傾向は来年も再来年も強くなると予想されます。子育て支援は市長の主要な施策ですので、この問題は教育委員会だけではなく守山の市政として、こども園化も含め、多様な保護者のニーズに公共施設の受入れができるよう、抜本的に検討いただき、実行に移していただきたい。</p> <p>今現在、子どもを幼稚園に通わせている保護者の中にも、保育園や長時間部に預けたいという隠れたニーズがあると思いますので、できるだけギャップを解消していただけるように、実効力ある決断をお願いしたい。</p>
<p>教育部理事</p>	<p>ただいま高倉委員と吉田委員がおっしゃったとおり、保護者のニーズは急激に変化しております。それに対応すべく、私どもも魅力ある幼稚園づくりをしていきたいと考えております。給食の有無で保育園を選択されているという声を聞いておりますので、まずは、令和7年度の幼稚園の給食実施に向けて取り組んでいるところです。また、預かり保育の時間についても、空き教室を有効に活用して、ニーズがある時間帯にできる限り応えられるよう、すぐにでも取り組んでまいりたいと考えております。</p>
<p>福田委員</p>	<p>国の方針は大まかにどうなっていますか。</p>
<p>教育部理事</p>	<p>少子化時代となっているため、全体としては保育園に空きが増え、待機児童がいる自治体のごくごく少数になってきています。その一方で子育て支援を手厚くし、子どもを自宅保育されている方でも保育園に預けられるような体制を取っていこうというのが、大きな国の流れとなっております。</p> <p>守山市のように保育園に余裕がないというところについては、なかなかそういった対応までは現状できませんが、最終的に国は、子育てに苦勞されている方々が頼りどころとする低年齢児のうちからの預かり場所としての保育園というようなことを考えているというのが現在の状</p>

	況です。
福田委員	各地方自治体に任せられているという理解でよろしいですか。
教育部理事	そうです。 状況を見る中で、我々もまずは待機児童対策ということになってまいりますけれども、将来的には国の流れに沿った形になっていくのではないかと考えています。
里内委員	物部や速野など比較的大きな園でも、3歳児は入園希望者が少ないですね。人数が少なすぎると、子どもたちが集団で関わり合って成長していくという幼稚園で学ぶ意義が薄れてくると思います。 小津、玉津および中洲がこども園化されたのは、各園の園児数が少なく、子どもたちが関わり合って生活する意義が薄れるからという理由もあると思います。比較的大きな学区の園においても、少人数化が進んでいるため、こども園化するなど適切な人数でお互い関わり合って学べるような環境整備を切に願います。
教育長	他にございませんか。 事務局のほうで、他に報告事項はございませんか。
事務局	ございません。
教育長	これで報告事項を終わります。 次に、日程第5、その他事項に移ります。 「教育委員会関係行事について」および「教育委員会の日程等について」の説明は省略いたしますが、この件についてご質問等はございませんか。よろしいですか。 それでは、事務局のほうから、その他、ありませんか。
事務局	ございません。
教育長	これで、その他事項を終わります。 これをもちまして、本日の議事日程は全て終了致しました。 それでは、次回、令和5年第11回守山市教育委員会定例会は、11月21日（火）午後1時30分から守山市役所2階防災会議室Bにて開催

いたしますので、委員の皆様、よろしくお願い致します。

[閉会 午後2時17分]